

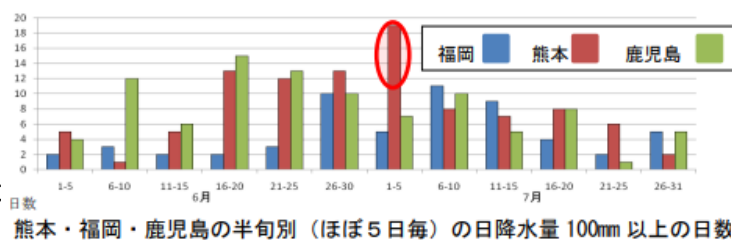
ぼうさい通信「まもる」

文責：防災教育主任
橋本道明
令和4年6月2日

熊本県の災害の特徴

本日の引き渡し訓練へのご協力ありがとうございました。今回は熊本県の災害の発生に関する気象の特徴を紹介します。内容の出典は「学校防災教育指導の手引」です。熊本県のホームページにも掲載されていますのでQRコードよりご覧ください。

熊本は右のグラフのように他地域に比べると7月の初めの雨量が非常に多い傾向にあります。そのため、6～7月は特に水害に警戒をする必要があります。



7月のはじめ頃大雨になりやすい傾向がある。

水害は予期できる災害です。それぞれのご家庭でも水害対策を話し合ってみてはいかがでしょうか？



令和2年7月豪雨を振り返る

令和2年7月豪雨の際は球磨川が増水し、大きな被害を受けた地域がありました。写真の川は一級河川の球磨川ではなく、二級河川の水無川のようなすです。災害を起こす危険性のある河川は多くあります。QRコードには熊本県の二級河川の情報も入っています。現在お住まいの場所やご親戚の方などがお住まいの地域の近くにある河川がありましたら、被害想定をチェックしてみてください。



防災情報くまもと（メールサービス）ご案内

「防災情報くまもと」のメールサービスに右のQRコードよりアクセスできます。様々な防災情報をメールにて受け取ることができます。多くの情報を受け取ることができますので、ご家庭の防災に生かすためにも、是非ご活用下さい。

